

問 図書購入費など教育予算の増額を

答 環境充実させる予算確保に努める



議員 信慶 木々 佐
(令和新風会)

問 令和3年度の一般会計決算額は134億円余で教育費の割合は6・5%であった。県内11市町村では教育予算の割合が10%を超えている。教育予算の増額について伺う。

松葉教育長 これまで必要な予算を確保してきた。今後も多様な教育課題に対応し、よりよい教育環境の充実のため、必要な予算の確保に努めていく。

問 豊間根小のトイレがいまだにくみ取り方式と聞いた。来年には山田小が開校する。令和の時代にくみ取り方式はいかなるものか。

芳賀学校教育課長 建設当時の当地区にお

る排水等の課題でくみ取り方式を採用しているが、簡易水洗であり、器具も更新するなど、衛生面には特に気を遣っている。

問 町の教育費の割合の推移が3年度が6・5%、2年度が5・1%、元年度が7・1%となっていることについて

て町長の見解は。

佐藤町長 教育は予算の問題だけではない。先生方がしっかりと当局と連携して、子どもたちの身になって考えることが一番の基本である。その中で必要なものや要望等にしつかりと応えていくことが我々の責務である。



山田の玄関口は常にきれいでありたいものです

問 郷土芸能保存の取組は

意見 町の図書購入費は年額138万円です。内33市町村中26番目である。隣の宮古市は1259万円で県内2番目であった。図書館は多くの町民が訪れる所である。各種交付金を受けて図書購入費を増やしていただきたい。

答 伝承活動の取組を情報共有する

問 今年は町内各地でお祭りが盛大に行われた。一方で郷土芸能団体の担い手不足が表面化してきている。町内各団体を存続していく必要があると考えるが、町としてどのような取組をしていくのか。

教育長 各団体の活動は、歴史や伝統文化を継承していく上で重要な役割を担っている。後継者育成や今後の活動の在り方など、より円滑な伝承活動につながる取組について、町郷土芸能連合会等と情報共有を図っていく。

その他の質問

- ◆ 防災無線の難聴世帯への対策は
- ◆ 小中学校等へ警報システムの導入を
- ◆ 駅前花壇を除草して
- ◆ 今後大きな問題となる「無縁墓」への考えは